



夏のねりま区報は 写真が動き出す! ?

~ ARを使った『ねりま区報』特集号を初めて発行 ~

発行	8月1日(金)	配布	新聞折り込み(朝日・産経・東京・日経・毎日・読売)、区立施設、区内および周辺各駅、区内金融機関・郵便局・公衆浴場・ファミリーマート・セブン-イレブン、練馬区ホームページ(PDF版)
AR動画の閲覧期限	8月31日(日)まで		

区が8月1日に発行する『ねりま区報』内の「子ども向け リサイクル特集号」に、AR(拡張現実)を活用した記事を掲載する。区報発行以来、初めての取り組み。

紙面では清掃工場内のごみ処理の様子や、粗大ごみのリサイクルの流れを「写真」で説明しており、ARではこれらの「動画」が再生される仕組みとなっている。AR動画を通じてごみ処理の過程を分かりやすく紹介し、リサイクルに関心を持ってもらうことが狙い。

編集を担当した職員は「子どもたちの目を引き、楽しく学べるよう写真を大きく掲載し、AR動画も音声付きのものを採用した。夏休みの自由研究にも役立ててもらえたら」と話している。

ARで動画が見られるのは、8月31日まで。区ホームページでは同内容の動画を公開しており、こちらは期限終了後も閲覧できる。



【特集号1面】

【8月1日発行特集号のAR動画の内容】

可燃ごみ	収集から清掃工場での焼却を経て焼却灰の一部(スラグ)は道路舗装などに再利用、その他は埋立処分場で埋め立てられる。
ペットボトル	専用車での収集、中間処理施設、資源化事業者を経て衣服やプラスチック製品に再生される。
粗大ごみ	一部は再利用や金属部品などのリサイクル、残りは粗大ごみ破砕施設、焼却場を経て埋立処分場で埋め立てられる。
スケルトン清掃車	小学校の環境学習に登場したスケルトン清掃車が、普段見ることが出来ない、車内からごみを排出する様子を披露する。
リサイクル工作	牛乳パックで作ったレーシングカーが走る。

区公式ホームページ内「ねりま区報」の「平成26年8月1日号」にも同じ動画を掲載します。

【ARについて】

AR(=「augmented reality」(拡張現実))とは、スマートフォンやタブレット端末に映しだされた画像(紙面写真)に、デジタル情報(動画・音声など)を加えた、現実世界とデジタル世界を重ね合わせる技術やその重なった世界のこと。

区報紙面上のAR動画を閲覧するには、スマートフォンやタブレット端末が必要。無料のアプリ・COCOAR(ココアル)をダウンロード・起動し、ARマーカの付いた写真にかざすと、写真が動画に早変わりする。動画の配信は平成26年8月31日まで。

アプリのダウンロードは無料。通信料などは別途発生する。

